# 環境報告書

## Environmental Report

# 2025

持続可能な未来へ、確かな一歩を。



地球にやさしい未来を、次の世代へ。

私たちは、環境に配慮した事業活動を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献します。

株式会社 エコポート九州

# 目　次


## 1．トップメッセージ

02

## 2．会社概要

企業情報　……03
許可・認証取得情報
基本方針　……04、05
SDGｓ　……06
熊本県「ブライト企業」に認定……07

## 3．マネジメントシステム

08

## 4．事業紹介

プラスチック中間処理事業……09
プラスチックマテリアル事業
木質ペレット製造事業……10
RPF製造事業
機密文書溶解事業……11
クレープ紙製造事業
機密文書保管事業……12

## 5．社会貢献

工場見学受け入れ……13
漁網のRPF化による社会課題
解決への挑戦……14
ボランティア活動・合志市エコ祭り
環境学習コーナー出展……15
出前講座・高校生と企業のとの交流会‥16
清掃活動・フードドライブ……17

## 6．社内教育・訓練

18

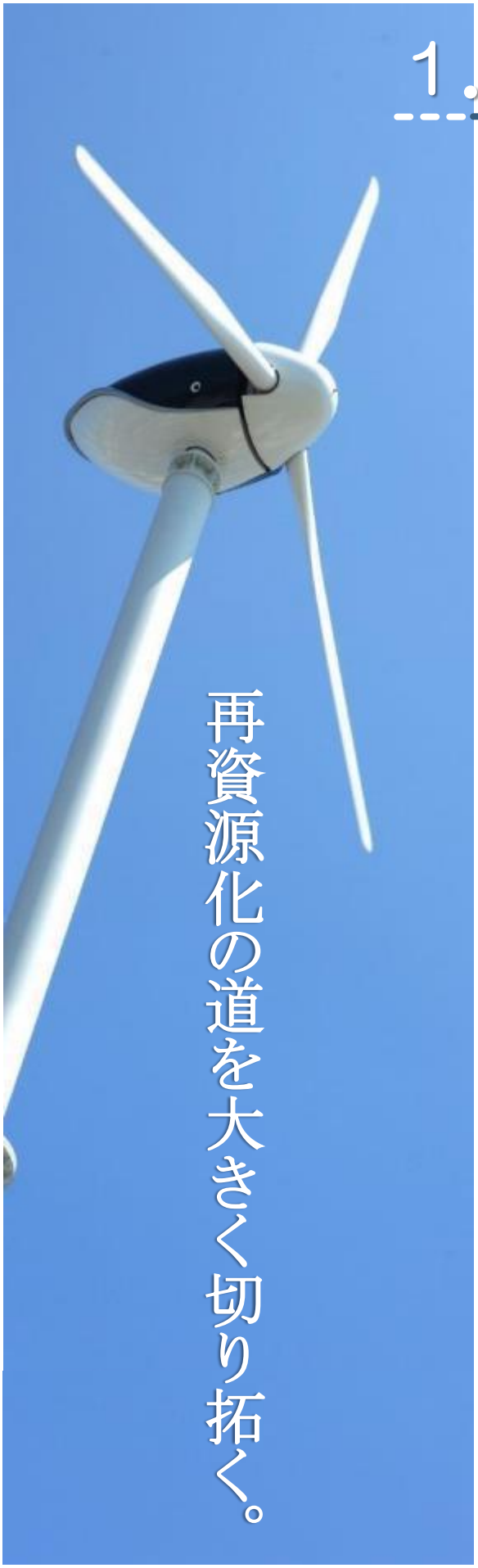
## 7．環境保全取り組み

再生可能エネルギー……19
省エネ対策
環境測定

## 8．実績と目標達成度

20、21




# 1. トップメッセージ

もはや循環型社会の構築や地球環境の保全は、我が国だけではなく地球規模における人類最大のテーマとなっており、地球環境への負担軽減は、全ての人類が等しく負わなければならない責任となっています。こうした時代にあって、私達の使命はかけがえのない地球環境を子供達に、さらにその先の未来まで健やかなままで引き継いでいくことと考えられます。

環境事業分野においても資源処理技術は日に日に進歩しており、従来廃棄物として処理されていたものも、最新技術や最新鋭の機器の導入により、再資源化の道が大きく開けてきております。今回のエコポート九州の事業においては、これまで分別が困難と思われていた樹脂を光学選別機による素材自動選別、洗浄、再生ペレット化まで再資源化する『プラスチックマテリアル事業』、個人情報保護法の施行や企業のコンプライアンス(CSR)が問われる現代のIT社会に氾濫する膨大な情報や機密文書をよりスピーディーにセキュリティとリサイクル化を両立させた『機密文書の溶解処理事業』、資源の枯渇防止と脱化石燃料を促進させる廃棄物エネルギーとして木質系廃材や森林を守るための林地残材の有効利用から『木質ペレット製造事業』、複合素材プラスチック等のマテリアル化が困難な樹脂からの『RPF製造事業』などの地球環境にやさしい廃棄物処理・再資源化の新しい分野に取り組んでまいります。

最後に本事業の創業に当たり、熊本県、熊本市等の各行政及び関係者の皆様方のご支援に厚く御礼申し上げるとともに、誘致企業としての責任と自覚のもと、地域社会の環境保全活動に貢献し、最新の環境保全技術を熊本より全国に発信できる企業となる様、努力邁進してまいります。

代表取締役社長
石坂　孝光



# 2. 会社概要

## 企業情報

| | |
|---|---|
| 商号 | 株式会社エコポート九州 |
| 所在地 | 〒861-5274　熊本県熊本市西区新港一丁目4番地１０<br>電話　096-288-3588　FAX　096-288-3533 |
| 設立 | 平成19年10月19日 |
| 代表取締役社長 | 石坂　孝光 |
| 資本金 | 490,000千円 |
| 従業員数 | 114　名　（令和8年4月１日現在） |
| 主製品 | 再生樹脂ペレット、古紙パルプ、クレープ紙、木質ペレット<br>木質原燃料、ＲＰＦ（固形燃料）、古紙 |

## 許可・認証取得情報

| |
|---|
| 熊本市一般廃棄物処分業許可 |
| 熊本市一般廃棄物収集運搬業許可 |
| 熊本市産業廃棄物処分業許可 |
| 熊本県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 福岡県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 佐賀県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 長崎県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 大分県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 宮崎県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 鹿児島県産業廃棄物収集運搬業許可 |

| |
|---|
| 熊本県再生事業者登録 |
| 熊本県計量証明事業登録(質量) |
| ISO14001 認証取得 |
| ISO27001 認証取得 |
| ISO9001 認証取得 |
| 倉庫業登録 |
| 熊本県ＳＤＧｓ登録事業者登録 |



ISO 14001:2015 認証取得
ISO 27001:2022 認証取得

ISO 9001:2015 認証取得

# 【ISO14001基本方針】

## 環 境 方 針

株式会社エコポート九州は、廃棄物の再商品化事業及び原燃料の製造事業を通し、循環型社会構築に貢献し、限りある資源とすばらしい地球環境を次世代に引き継ぐため、環境と調和の取れた企業活動を進めます。

1. 環境負荷の軽減と廃棄物の限りない有効利用を重視し、事業活動に努めます。

2. 事業活動における環境影響を随時把握し、特に以下の項目については優先的に活動し、継続的改善及び汚染の予防に努めます。

① 電気・燃料等の資源エネルギーの有効活用に努め、使用量の抑制を図ります。
② 自然エネルギーを有効活用します。
③ リサイクル化・リユース化を推進し、廃棄物の発生を抑制します。
④ 有害物質の適正処理を推進し、対外放出の削減に努めます。
⑤ 排水の環境改善と適切な管理により、水資源の有効利用に努め、汚水の発生を抑制します。

3. 環境関連法規及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、社内環境整備に努め、高品質な再資源化と再商品化を目指し、循環型社会の一翼を担います。

4. 環境企業として社会的責任を果たす為、環境教育の現場として施設の一般公開・見学・体験学習等を積極的に推進します。

5. この環境方針を、全従業員に周知するとともに、一般の方に公開します。

制定：2010 年 4 月 1 日
改訂：2015 年 4 月 1 日
株式会社 エコポート九州
eco-port kyushu .co.,ltd
代表取締役
荻 英雄

# 【ISO27001基本方針】

## ISMS基本方針

株式会社エコポート九州は、廃棄物の再商品化事業及び原燃料の製造事業を通じ、循環型社会の構築に貢献します。 当社は、事業活動で取扱う情報資産（個人情報及び特定個人情報を含む）のセキュリティ確保はもとより、廃棄物等に含まれる情報のセキュリティ確保が極めて重要な責務であることを認識し、以下の通り情報セキュリティ基本方針を定めます。

## 情報セキュリティ基本方針

1. 顧客が排出する廃棄物等に含まれる情報（個人情報及び特定個人情報を含む）の漏洩を防止するため、組織的、技術的に適切な対策を講じ、確実に保護します。

2. 情報セキュリティに関する法令、規則及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

3. 経営者、従業員及び協力会社等の従業員が、情報資産の重要性を十分に認識するように、必要な教育・訓練を実施します。

4. 基本方針及び関連する諸規則、管理体制の評価と見直しを定期的に行い、情報セキュリティの継続的な改善を図ります。

5. この基本方針を、全従業員に周知するとともに、一般の方に公開します。

制定：2010 年 4 月 1 日
改訂：2017 年 4 月 1 日
株式会社 エコポート九州
eco-port kyushu .co.,ltd
代表取締役
荻 英雄

# 【ISO9001品質方針】

「循環型社会の形成に寄与し、リサイクル事業における

高度な品質水準の製品を提供する。」

1. 製品を含むあらゆるサービスを顧客の望む「よいものを、必要な時に、安全に使えるように」社内における品質管理目標を定め、関係各部署が連携し品質管理の徹底を図る。

2. 品質の効果的かつ経済的な確保ならびに品質保証の達成に最善の努力をする。

制定：2016年8月30日

株式会社 エコポート九州
eco-port kyushu .co.,ltd

代表取締役

荻 英雄


















私たち株式会社エコポート九州は、

再資源化（リサイクル）のプロフェッショナル企業として、

SDGsの取組みにチャレンジし、

持続可能な社会の実現に努めてまいります。




SDGｓ（エスディージーズ）とは「Sustainable Development Goals」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。 SDGsは発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。

# 熊本県「ブライト企業」に認定されました！！

2025年11月12日（水）、熊本県庁において「令和7年度ブライト企業認定証授与式」が開催され、当社は認定企業として認定証の授与を受けました。

当社は、熊本の地で資源循環に関わる事業を行いながら、地域社会への貢献に努めるとともに、社員一人ひとりが安心して働き成長できる職場づくりを推進しています。
資格取得支援や安全教育、福利厚生の充実などを通じて、若手からベテランまで全ての社員はもちろん、学生・求職者の皆さまにも「ここで働きたい」と感じていただける企業を目指しています。
今回の認定を励みとして、今後も地域に根ざした企業として、社員とともに成長しながら、持続可能な社会の実現と地域の発展に貢献してまいります。

ブライト企業とは？
　働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を熊本県が認定する制度です。以下の4つの基本的な要件があり、審査を経て県が認定を行います。

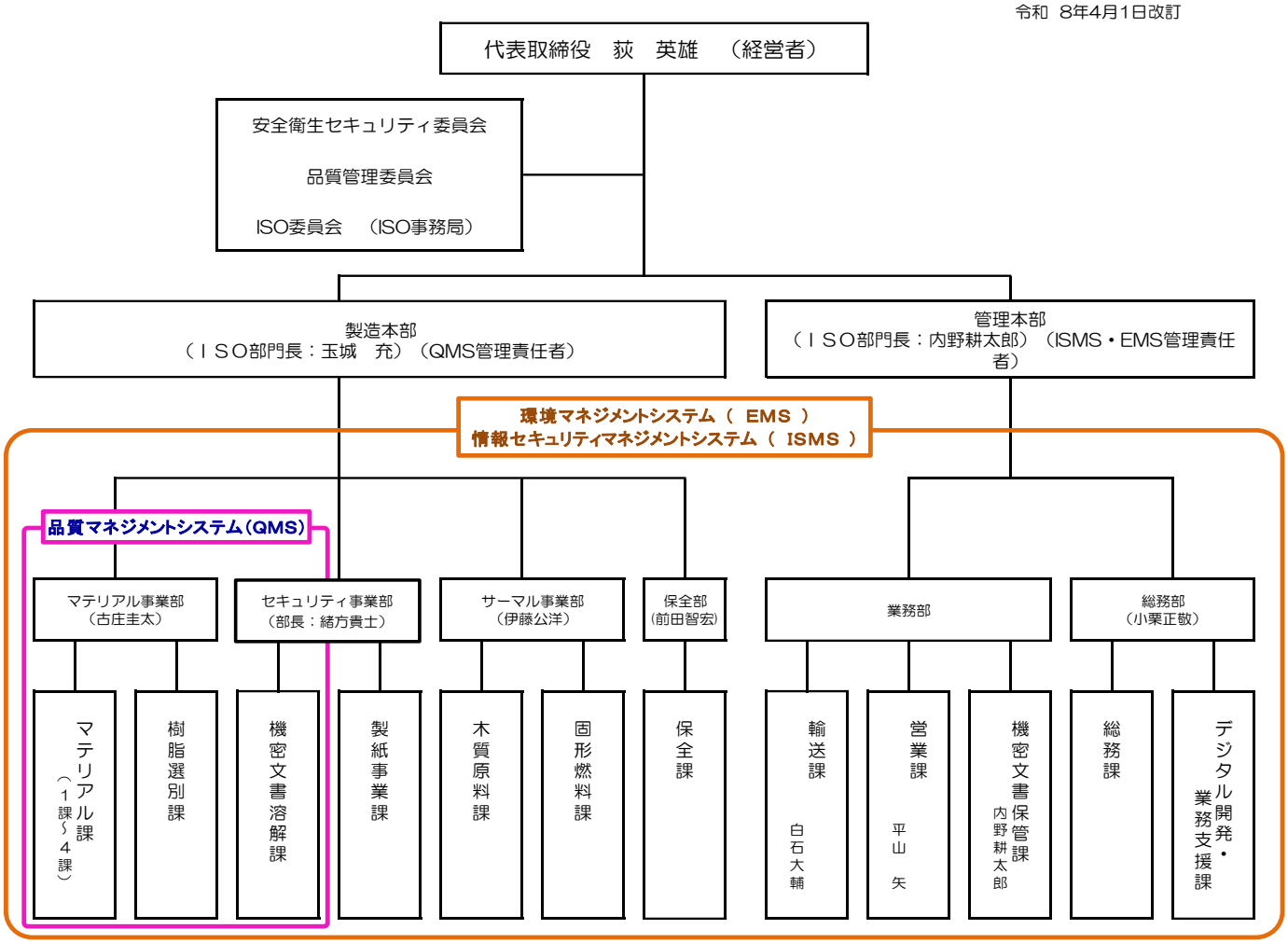
＜基本的な要件＞
- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域に雇用を生み出している
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている






# 3. マネジメントシステム

平成22年4月1日制定
令和 8年4月1日改訂




株式会社エコポート九州　ISO組織図



入社時教育



保護具の適正な使用：選定シミュレーション



緊急事態への教育訓練

# 4. 事業紹介

## プラスチック中間処理事業

市町村や民間企業から排出されるプラスチック系容器包装類を選別し、プラスチック素材以外の紙くずや金属くず等を取り除き、プラスチック製容器包装類のみプレス機にて圧縮梱包し、廃プラスチックベール品を生産します。


プラスチックベール

**Point 1**

廃プラスチック類を専門に選別するために破集袋機やロールスクリーン、磁力選別機を導入し、通常手作業だけでは正確に選別する事が難しいプラスチック系容器包装類を正確かつ迅速に選別し、圧縮梱包します。

**Point 2**

正確に選別する事により、廃プラスチックベール品の品質を向上させ、再資源化される容器包装プラスチック類のロスを減少させます。又、廃プラスチックのリサイクルは、枯渇資源である化石燃料の使用抑制に寄与します。

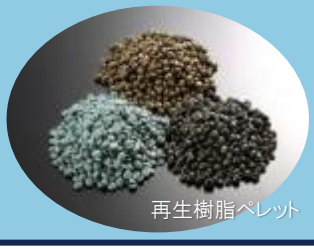
**Point 3**

排出される廃プラスチックは生活由来の割合が高いため、動植物性残渣の混入も予測されます。そのため、臭気対策として受け入れ設備と選別施設を分類し、また圧縮梱包機は臭気を遮断するために1体ずつ袋詰めを行い、衛生面にも配慮しています。



## プラスチックマテリアル事業

使用済みのプラスチック製容器包装類を最新鋭の光学式選別機により素材毎に選別し、減容品やペレットと呼ばれる再生樹脂原料を生産します。このような方法は「マテリアルリサイクル(材料リサイクル)」と呼ばれ、枯渇資源である化石燃料の使用抑制と循環資源の有効利用を推進しています。


再生樹脂ペレット

**Point 1**

最新鋭のプラスチック光学式選別機8台により、素材が混合した廃プラスチック原料から、PE(ポリエチレン)やPP(ポリプロピレン)等の単一素材のプラスチックを自動的に抽出します。

**Point 2**

温水洗浄システムを導入し、廃プラスチックに付着している油分や不純物を素材毎に徹底的に洗浄し再生樹脂の品質を向上させます。

**Point 3**

生産されるペレット等は、高純度の単一素材樹脂のため、従来混合樹脂ペレットでは物流資材等の用途が大半であったが、より機能的に、多種のプラスチック製品へとリサイクルする事が可能となります。



## 木質ペレット製造事業

エコポート九州の木質ペレットは、乾燥した廃木材(新築廃材・解体材・間伐材)を粉砕し、圧縮して直径8mmの円筒状に固めて成型したバイオマス燃料で主に家庭用ペレットストーブやボイラーの燃料として利用されます。




**Point 1** 木質ペレットは、小さな円筒状に成型加工されているため、木質チップに比べ運搬や取り扱いが容易な燃料です。

**Point 2** 木質ペレットは含水率が低いので木質チップに比べ着火性、燃焼効率も優れています。また、品質が均一化されているため、安定した熱量を有しています。



■当社食堂に設置しているペレットストーブ

## RPF（固形燃料）製造事業

RPFは、材料リサイクルが困難な廃プラスチック類、紙くず及び木くず、繊維くずを原料とした固形燃料です。RPFは主に大手製紙メーカーに出荷され、燃料コストの削減や二酸化炭素排出量の低減に貢献しています。



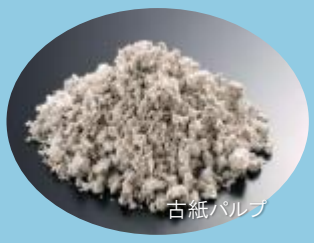

**Point 1** RPFは石炭と比べ、約30%の$CO_2$排出量を低減できます。またRPFを利用する事で、枯渇資源である化石燃料の使用を抑制し、有限である資源の延命、地球温暖化防止に貢献します。

**Point 2** RPFは産業廃棄物を主原料としているため、排出元及び廃棄物性状が明らかとなり、原料管理が容易にできます。そのため、廃棄物燃料ではありますが、品質が安定し高い発熱量をもつ燃料を製造する事ができます。

**Point 3** RPFを製品化する上で問題となる塩素系プラスチックを除去するために、光学式選別機を導入。混合プラスチックの中から塩素を含むプラスチックを自動的に判別・除去し、RPFの製品品質を向上させます。

## 機密文書溶解事業

官公庁や民間企業から排出される機密文書や個人情報を含む書類を最新鋭のセキュリティシステムと 監視カメラ下において、安全・迅速に情報を抹消し、且つ再生資源として、製紙原料となる「古紙パルプ」 を生産します。


古紙パルプ

**Point 1** 工場出入口と機密文書溶解処理工場出入口に警備員を常駐させ、搬出入車両を管理し、又、不審者の侵入を防ぎます。さらに警備員常駐場所には、監視カメラモニターを設置し、常に敷地出入口及び機密文書溶解処理工場出入口及び内部を監視しています。

**Point 2** 機密文書溶解処理工場の出入口には、静脈認証装置が設置されており許可権限の無い者の出入を制限しています。又、認証装置を介して出入を行う場合は、全て管理端末に開閉場所、開閉時刻、実行者が記録され作業従事者であっても常に管理されています。

**Point 3** 処理委託者の立会室を完備していますので、処理状況を直接確認することができます。又、時間あたり約3~5トンの機密文書を溶解する事ができるため、処理の立会時間を大幅に短縮し、お客様の負担を軽減します。



## クレープ紙製造事業

機密文書を原料に、クレープ紙と呼ばれる緩衝紙を製造します。クレープ紙は陶器を梱包する際や、引越しの荷造り時に、荷物を保護する目的で利用されます。


クレープ紙

**Point 1** 通常、紙を生産するときに全部、又は一部原料として利用されるバージンパルプを一切使用せず、100%リサイクル原料でクレープ紙を製造します。そのため環境負荷が少なく、地球環境に配慮した製品です。

**Point 2** 近年、SDGｓや脱プラスチックの観点から、環境に配慮した緩衝紙の需要が高まっています。当社製品は、波佐見焼・有田焼の産地や物流業界で広くご利用いただいてきました。さらに現在は、美濃焼の製造現場にも採用が広まっています。

**Point 3** 規格サイズへの裁断は手作業のため、サイズバリエーションが豊富で、陶器であれば、湯のみサイズの小さなものから大皿サイズまで規格品にて対応いたします。又、規格外サイズに関しても別途応談にて対応いたします。



# 機密文書保管事業

弊社では、機密文書の保管事業も執り行っております。
**保管から処分までを一貫システム**で構築することにより、処分するための運搬コストや手間を削減、さらには一社完結することでセキュリティも安心。万全のセキュリティシステムを導入し、徹底した管理で情報漏洩を防ぎます。

Point 1

保　管



お客様専用ラックで保管いたします。専用箱なら18箱可能

Point 2

侵入者をセンサーで管理



警備会社と連携した機械警備体制

Point 3

監視カメラ



9台のカメラで録画管理

Point 4

顔認証システム



保管倉庫への立入者を制限管理



# 5. 社会貢献

## 工場見学受け入れ

企業の方に限らず、一般の方や学生の工場見学も実施しています！

見学来場者総数
(H23.10~R8.3)
12,322

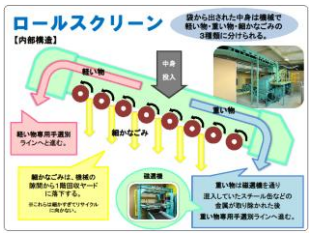
現在は、新工場建設計画など事業展開に絡み、同業他社様など一部の工場見学を制限しておりますが、地域住民や学生等、リサイクル学習を目的とする見学の受入を実施しています。

当社の工場見学は、ご家庭から出されたプラスチックごみを選別する様子や、機械を使ってプラスチックを素材別に分けていく様子を間近で見て頂くことができます。
また、小さなお子様にもわかりやすいよう、図やイラストをまじえたパネルなどを使った説明も行っております。
このほか、自治体や教育機関への出張講座も実施しています。
お気軽にお問合せ下さい。





■工場見学の様子







■工場内のパネル

## 機密文書溶解処理『エコパル』工場見学会も行っています！

機密書類を溶かして再生
ecopu!
愛心になる。工夫になる。認証になる。海になる。



機密文書溶解処理「エコパル」システムにおいては、より多くの方々に『エコパルシステム』のメリットを知って頂くために、工場見学会を開催しています。

エコパル工場見学会では、民間企業及び、行政機関の多くの方々にご見学に来て頂きました。

普段はなかなか見て頂く事ができない溶解処理の様子を、間近で見て頂き、感動していただいています。



■エコパル見学会の様子

# 漁網のRPF化による社会課題解決への挑戦

## ■ 背景と目的

当社では、石炭の代替燃料となるリサイクル燃料として廃棄物由来の固形燃料（RPF）を製造しています。このたび長崎県の生月漁協と連携し、廃棄が困難で長年保管されていた漁網のRPF化に挑戦しました。漁網はPET樹脂で強度が高く絡まりやすいため破砕や固形化が難しく、海水の影響による塩素濃度の懸念（塩素は製品の品質に影響を与える）もあり、これまで受入を制限していました。しかし、漁港に保管された廃漁網の増加や故意に海へ不法投棄され、「ゴーストネット」として海洋生物に悪影響を与えることが社会問題となっています。地域社会課題の解決に貢献すべく、数量を限定して試験的な取り組みを開始しました。



■当社へ搬入された廃漁網

## ■ 取り組み内容

漁網のRPF化に向け、以下の点に重点を置きました。

**〇塩素濃度の試験**

海で使用された漁網が塩素濃度基準（0.3%未満）を超えないかを事前テストを行い、成分分析などを繰り返して、基準を満たすことを確認。

**〇前処理の工夫**

帯状の漁網が破砕機に巻き付き、設備トラブルを引き起こすリスクがあるため、事前に細断処理を実施。生産ロスが多きくなるが、通常よりも丁寧な前処理を加えることで、安全かつ安定したRPF製造を実現。

**〇地域や関連業者との連携**

漁協や運搬事業者など関連業者と協力し、保管されていた漁網の選別・搬出を行い、長崎県での地域課題を同じ九州地方の熊本県にて処理。地域課題の解決に向けた一歩を踏み出しました。



■前処理工程の様子

## ■ 今後の展望

今回の取り組みにより、漁網のRPF化が技術的・環境的に可能であることを確認できました。今後は生産性やコスト面の課題を改善しながら、沿岸地域で発生する廃漁網の安定的な受入れ・処理について検討を進めてまいります。



■前処理後の漁網

## ■ 社会課題への貢献

本取り組みは、廃棄物の有効活用だけでなく、漁業で発生する処理困難物の適正処理や海洋環境保全につながるものです。当社は今後も資源循環と社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

# ボランティア活動

◆令和　２０２６年　２月　２５（水）
＜場所＞熊本市南区富合町：雁回公園周辺

熊本県産業資源循環協会の一員として、不法投棄物の撤去作業に参加しました。
当日はあいにくの天候にもかかわらず、熊本支部会員99名、熊本市事業ごみ対策課３名、協会事務局２名の合計１０３名が参加しました。参加者は道路沿いのがけ下に不法投棄されたごみを人力で回収し、可燃ごみをはじめ、ベッドマットやソファー、ビン・缶・スプレー缶・蛍光灯・タイヤなどの多岐にわたる廃棄物を回収しました。今後も地域の環境美化と不法投棄防止に向けて、関係機関と連携しながら環境保全に取り組んでまいります。





# 合志市エコ祭り　環境学習コーナー出展

◆令和　２０２５年　１１月　２（日）
＜場所＞合志市：熊本県農業公園カントリーパーク

「合志市エコまつり」（合志市民まつり同日開催）において、地域のプラスチックリサイクル事業者として環境学習コーナーへ出展しました。当日は、来場者の皆さまにプラスチックリサイクルの重要性を楽しく学んでいただくため、以下の取り組みを実施しました。



・ペットボトルキャップを使ったキーホルダーづくり体験
・容器包装プラスチックの処理工程やリサイクル製品の展示
・100%リサイクル材料で製造したプランターをプレゼント
・当社マスコットによる来場者の皆さまとの交流

当社は、菊池広域連合管轄の各家庭から排出される容器包装プラスチックのリサイクル事業を通じて、循環型社会の実現に貢献しています。今回のイベントでは、多くの地域の皆さまと直接交流しながら、資源循環や環境保全の大切さについて理解を深めていただく貴重な機会となりました。今後も当社は、地域社会とのつながりを大切にしながら、持続可能な未来の実現に向けて環境活動に積極的に取り組んでまいります。



## 環境出前講座

2025年7月14日（月）

熊本県資源循環協会の取組として、熊本市立桜木小学校において、４年生を対象とした、環境出前講座を実施しました。
今年度7校目（通算78回）となる講座で、今回は、当社営業課長の平山が講師を務め、そのほか青年部会員3名、事務局1名とともに授業を行いました。
今回の講座が、子どもたちにとって環境について考えるきっかけとなり、資源の大切さやリサイクルへの関心を深めてもらえることを期待しています。





## 高校生と企業との交流会

2025年6月6日（金）

「高校生と企業との交流会」（グランメッセ熊本）に参加しました。当日は、若手社員を含む2名で参加し、当社のプラスチックリサイクルの工程や環境負荷低減の取り組み、若手社員の経験をまじえながら、仕事の内容や働く魅力、職場の雰囲気についてお伝えしました。
高校生の皆さんからは、仕事の内容や資格、働くうえで大切なことなど多くの質問をいただき、真剣に将来を考えている姿がとても印象的で、私たちにとっても、大変貴重な交流の機会となりました。今後も、地域の未来を担う高校生の皆さんとのつながりを大切にし、地元で働く魅力や仕事のやりがいを発信してまいります。



# 清　掃　活　動

毎月一回以上のペースで会社周辺の清掃活動を実施しています。当社社員が周辺の美化活動を通じて、地域の環境美化に貢献でき地域の皆さまとの「絆」や「つながり」をより深める事を目的に取り組んでおります。









# フードドライブ2025

2025年９月

昨年に引き続き、熊本県が生活協同組合くまもと様と共催で実施する「フードドライブ2025」に参加いたしました。熊本県では、県内の食品ロス削減に取り組む事業所を募集し、家庭に眠る食品を子ども食堂などへ提供することで地域を支援することを目的としています。弊社の取り組みが少しでもフードロス削減に貢献できれば幸いです。今後も続けてSDGsに向けた積極的な活動を地づけてまいります。





# 6. 社内教育・訓練

## 各委員会

定期的に委員会を開催し、より良い職場作りに励んでいます！

### ◇安全衛生セキュリティ委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、委員長、副委員長、衛生管理者、書記係、広報係、教育係、保健係（産業医）、美化係、KY·RA係、事故処理係を執行部とし、会社内外における労働安全を第一に考えてより良い会社つくり、社員が働きやすい職場つくりを目指すことを目的として活動しています。

### ◇品質・環境管理委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、循環型社会の形成に寄与し、リサイクル事業における高度な品質水準の製品を提供することを目的として活動しています。

また、事務所２階には分析室を設けており、日々の製品の品質管理を行っています。



■製品分析の様子

### ◇ISO委員会

毎月1回開催しております。本委員会は、環境マネジメントシステム、情報マネジメントシステム、品質マネジメントシステムの、計画・実施・維持に関する事項の審議を行い、関連する情報を従業員に発信する役割を担っています。

## 教育・訓練

講習会や勉強会を実施し、安全に業務ができるよう取り組んでいます！

### ◇教育・訓練

年間教育計画に従って、廃棄物処理知識に関する講習会、避難訓練、ISO認証取得事業者であることの自覚教育を目的とした勉強会及び力量向上のための教育を行っています。また、入社時に労働安全教育、機械設備の運転管理教育等を行い、安全に業務に従事できる体制づくりに取り組んでいます。



■全従業員への教育（年1回）の様子



■入社教育の様子

# 7. 環境保全取り組み

## 再生可能エネルギー

敷地内に風力発電、工場棟屋根に太陽光発電を設置！



エコポート九州には、風力発電と太陽光発電の２つ自家発電設備があります。計210kwhの再生可能エネルギーの発電が可能であり、どちらの設備も発電量がわかるようにシステム（電力量の見える化）を導入しています。

### 風力発電

エコポート九州のシンボルタワーともなる風力発電設備です。港の強い風を利用して最大、10kwh発電が可能です。

### 太陽光発電

３棟の工場棟の屋根には、1600枚の太陽光発電パネルを設置しています。

最大200kwhの発電が可能で、事務所棟や計量棟の電力をまかなえる程の電力に相当します。

※総発電量3,173,151kwh（H22～R7）



## 省エネ対策

LED照明やセンサーライトで省エネ！

使用電力削減のため、ＬＥＤ照明とセンサーライトを導入。外構スペースにはＬＥＤ太陽光街灯を設置しています。また、スイッチを細かく分けることにより、広い部屋や工場内で照明を必要としている部分だけを点灯することが可能となり、節電することができます。





## 環境測定

定期的に
環境測定実施！

各種環境測定を定期的に実施し、基準を満足していることを確認した上で事業を行っています。

＊騒音測定　＊臭気測定
＊振動測定　＊ばい煙測定
＊排水測定　など

※騒音、振動、排水測定結果は、当社ホームページに掲載しています。

# 8. 実績と目標達成度

## INPUT

### エネルギー

| | |
|---|---|
| 電力 (kWh) | 14,382,091.0 |
| うち自家発電(太陽光) (kWh) | 118,471.0 |
| (風力) (kWh) | 388.0 |
| 軽油 (L) | 136,943.0 |
| ガソリン (L) | 5,108.0 |
| 重油 (L) | 22,989.0 |
| 灯油 (L) | 8,380.0 |
| バイオディーゼル (L) | 4,052.0 |

### 水資源

| | |
|---|---|
| 井水(取水(㎥)) | 52,135.0 |
| 上水 (㎥) | 738.0 |

### 原料類

| | |
|---|---|
| 樹脂選別(一次選別)棟(t) | 3,149.7 |
| 樹脂マテリアル棟(t) | 19,704.2 |
| 木質ペレット棟(t) | 0.0 |
| RPF棟(t) | 14,925.5 |
| 機密棟(t) | 3,763.5 |
| 製紙棟(t) | 0.0 |
| 原料類計 (t) | 41,542.9 |
| (部門間で重複分(t)) | (11,517.2) |

【A】 原料類計-重複分= 30,025.8

エコポート九州

## OUTPUT

### 二酸化炭素排出

| | |
|---|---|
| 二酸化炭素 ($t\text{-}CO_2$) | 6,094.00 |

### 排水

| | |
|---|---|
| 排水 (㎥) (※下水道) | 27,336.0 |

### 残渣

残渣(t)
【B】3.7

リサイクル率 **99.99%**

### 製品

| | |
|---|---|
| 樹脂マテリアル棟(t) | 9,267.8 |
| 木質ペレット (t) | 0.0 |
| RPF (t) | 14,462.0 |
| 古紙パルプ (t) | 3,326.0 |
| クレープ紙 (t) | 167.9 |

$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{再資源化等量(【A】-【B】)}}{\text{原料合計【A】}} \times 100$$





## ■ プラント別 環境目標達成度

（合計/処理量）

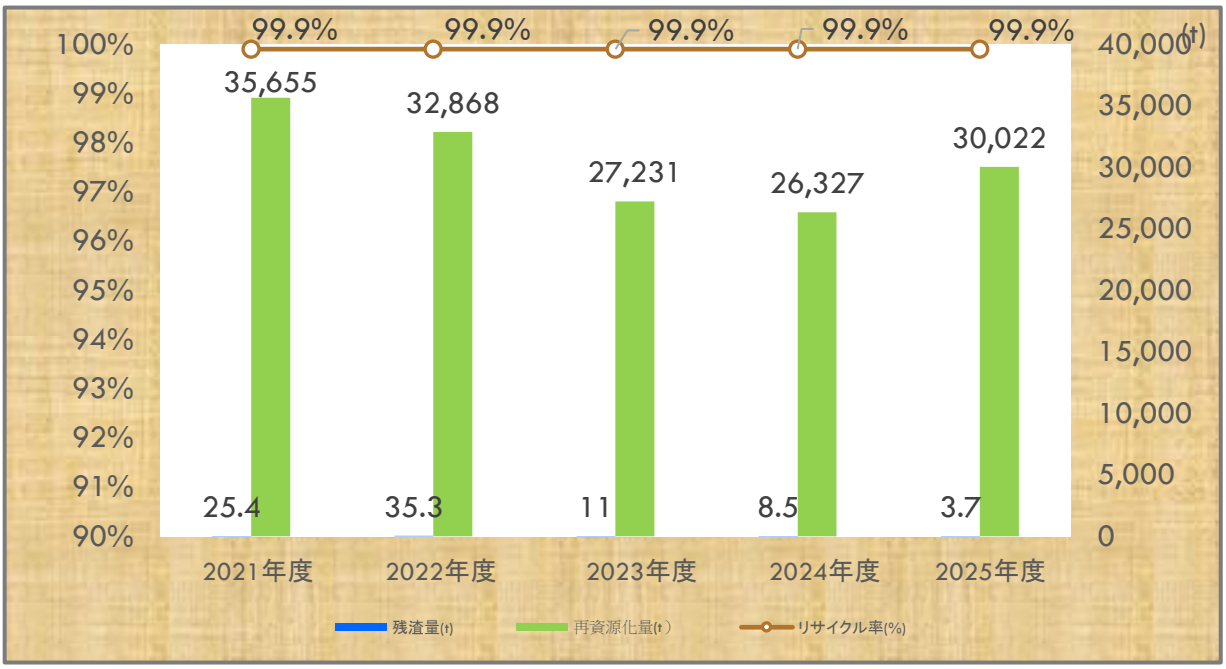
| | | 樹脂選別棟（一次選別棟） | 樹脂マテリアル棟 | RPF棟 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素排出量 ($t\text{-}CO_2$/処理量-t) | 目標値 | 0.040 | 0.270 | 0.091 |
| | 実　績 | 0.036 | 0.260 | 0.093 |
| | 達成度 | ◎ | ◎ | △ |
| 水資源使用量 (㎥/処理量-t) | 目標値 | 数値管理 | 1.50 | 0.51 |
| | 実　績 | 0.07 | 1.71 | 0.48 |
| | 達成度 | - | △ | ◎ |

| | | 木質ペレット棟 | 機密棟 | 製紙棟 |
|---|---|---|---|---|
| 二酸化炭素排出量 ($t\text{-}CO_2$/出荷量-t) | 目標値 | 数値管理 | 0.063 | 0.807 |
| | 実　績 | 9.60 | 0.051 | 0.678 |
| | 達成度 | - | ◎ | ◎ |
| 水資源使用量 (㎥/出荷量-t) | 目標値 | 数値管理 | 1.5～1.9㎥の間 | 数値管理 |
| | 実　績 | 18.24 | 1.30 | 59.1 |
| | 達成度 | - | △ | - |

（合計/出荷量）



## ■ リサイクル率推移




（過去5年間）

※ 2011年度より本格稼働。高いリサイクル率を維持することができています。

*I think to myself What a wonderful world …*

株式会社エコポート九州

〒861-5274 熊本県熊本市西区新港一丁目4番地10
TEL. 096-288-3588 FAX. 096-288-3533
Https://www.eco-port.jp



えこぽちゃん
エコポート九州
マスコットキャラクター